

2023 年度  
事業報告書



学校法人草苑学園

# 1. 法人の概要

## 1.1 基本情報

名称	学校法人草苑学園
所在地	171-0031 東京都豊島区目白三丁目17番11号
電話	03-3953-4016
FAX	03-3952-4387
ウェブサイト	www.soen.ac.jp

## 1.2 建学の精神

スクールモットー

信仰・希望・愛  
祈り

本学園は、キリスト教の精神を教育の理念に掲げ、1954年にキリスト教保育者たちの「キリスト教に基づく教育で保育者養成を」という願いから設立された。

「キリスト教の精神」とは、人間は一人ひとりが神によって作られた尊い存在であり、それゆえにお互いを尊重し、常に隣人に対して愛を持って行動することに具体化される。幼い者、弱い者のために働く保育者が目指すべき精神そのものと言える。

キリスト教に基づく教育とは、互いを尊重し、相手によらず目の前にいる人に思いやりと援助の気持ちをもって行動できる人格形成を目指すものである。

これを具体化するために、草苑保育専門学校では創立60周年を機にスクールモットーを、「信仰・希望・愛／祈り(祈りによって支えられた 信ずること、希望を持つこと、愛すること)」と定めた。

## 1.3 沿革

1950(昭和25)年	八景坂幼稚園の設置認可。
1953(昭和28)年	全国のキリスト教主義幼稚園からの声を受けて、キリスト教保育連盟に教諭養成所設立準備委員会が始動、翌年1月18日の理事会にて役員派遣を議決。
1954(昭和29)年	日本キリスト教団原宿教会内に「原宿高等保育学校」(夜間)が開校。(4月26日に開校式及び入学式を挙行。この日が草苑学園の創立記念日である。) 文部大臣より幼稚園教諭養成機関(指導校・青山学院大学)として指定を受け、保育者養成に当たる。初代校長に佐藤初重先生が就任。
1956(昭和31)年	現在地の東京都豊島区目白(旧成蹊女子学園跡地)に校地を得て、「原宿高等保育学校」及び「八景坂幼稚園」を移転落成。
1957(昭和32)年	「学校法人草苑学園」の設立認可(2月11日)。「草苑高等保育学校」及び「草苑幼稚園」と名称変更。
1978(昭和53)年	高等保育学校新校舎(現本校舎)竣工。
1981(昭和56)年	「草苑高等保育学校」は、学校教育法の改正により専修学校として認可され「草苑保育専門学校」と改称。
1984(昭和59)年	「草苑保育専門学校」(昼間部)認可開設。

1985(昭和 60)年	「草苑保育専門学校」は、保母養成施設の指定を受け、幼稚園教諭と保母の両資格を取得できる専修学校となる。
2005(平成 17)年	「草苑保育専門学校」(夜間部)廃止。
2010(平成 22)年	幼稚園舎を耐震改築。
2010(平成 22)年	専門学校を男女共学化。10 月生入学を新設。東京都の保育士職業訓練委託を受け、保育士養成科定員 40 名を受け入れ開始。
2011(平成 23)年	専門学校第二校舎新築落成。
2013(平成 25)年	専門学校本校舎耐震補強工事完成。
2014(平成 26)年	専門学校創立 60 周年(スクールモットー制定)。
2015(平成 27)年	一般社団法人キリスト教学校教育同盟に加盟。
2016(平成 28)年	幼稚園隣接地を取得。
2017(平成 29)年	専門学校に学生寮を開寮。
2018(平成 30)年	専門学校が職業実践専門課程の認定を取得(文部科学省)。
2021(令和 3)年	学校法人青山学院との間で、教育連携協定を締結。

## 1.4 設置する学校

設置する学校	学校設置認可
草苑幼稚園	1950(昭和 25)年 11 月 4 日 (八景坂幼稚園として)
草苑保育専門学校	1954(昭和 29)年 5 月 13 日 (原宿高等保育学校として)

### 1.4.1 園児・学生

2023 年 5 月 1 日現在

学校	収容定員数	在籍園児・学生数
草苑幼稚園	80	74
草苑保育専門学校	300	305

## 1.5 理事・監事

定員 理事 9人 監事 2人

2024年 3月 31日現在

職名	氏名	期間	常勤/非常勤	備考
理事長	柳内 光子	2003.4.16～	非常勤	山一興産(株)社長
理事	阿江 美知代	2023.5.26～	常勤	草苑保育専門学校長
理事	小澤 智子	2022.4.1～	常勤	草苑幼稚園長
理事	柳内 えり	2014.4.22～	常勤	草苑学園総合企画室長
理事	上村 清	2018.6.1～	非常勤	(株)内山アドバンス会長
理事	福島 啓充	2009.3.18～	非常勤	弁護士
理事	池坊 保子	2016.8.12～	非常勤	特定非営利活動法人萌木理事長
理事	山本 与志春	2016.8.12～	非常勤	青山学院長
監事	矢島 義幸	2014.7.1～	非常勤	税理士
監事	江積 恵	2021.5.25～	非常勤	元青山学院監査室長

法人は、次の非業務執行理事等との間で、上限額を 10 万円とする責任限定契約を締結している：  
上村清理事、福島啓充理事、池坊保子理事、山本与志春理事、矢島義幸監事、江積恵監事

## 1.6 評議員

定員 19人

2024年 3月 31日現在

氏名	期間	備考
阿江 美知代	2023.5.26～	草苑保育専門学校長
小澤 智子	2022.4.1～	草苑幼稚園長
柳内 えり	2014.4.22～	草苑学園総合企画室長
山田 明男	2018.6.1～	草苑学園入試広報部長
古屋 四朗	2018.6.1～	草苑学園総務・財務部長
竹原 有基	2021.3.24～	草苑保育専門学校教務部長
遠藤 撰	2015.6.5～	草苑幼稚園職員
池谷 陽子	2024.3.26～	草苑保育専門学校同窓会長
宮本 妙子	2024.3.26～	草苑保育専門学校同窓会副会長
石川 正美	2021.3.24～	草苑幼稚園卒園生
柳内 光子	2003.4.16～	山一興産(株)社長
池坊 保子	2016.8.12～	特定非営利活動法人萌木理事長
上村 清	2018.6.1～	(株)内山アドバンス会長
武田 剛	2018.6.1～	(株)内山アドバンス

小川 洋二	2024.3.26～	長原教会牧師
中村 早苗	2024.3.26～	横浜プロテスタント研究会役員
福元 真由美	2024.3.26～	青山学院大学教授

## 1.7 教職員

2023年5月1日現在

区分	教員区分	人数	職員区分	人数	教員・職員	人数
幼稚園	専任	7	専任	0	専任	7
	非常勤	9	非常勤	1	非常勤	10
	計	16	計	1	計	17
専門学校	専任	15	専任	14	専任	29
	非常勤	43	非常勤	4	非常勤	47
	計	58	計	18	計	76

## 1.8 施設等

学園が所有する校地・校舎

2023年5月1日現在

所在地	東京都豊島区目白三丁目17番11号			
土地	4120 m <sup>2</sup> (付属の私道等を含まない。)			
建物	幼稚園	園舎	1階建	375 m <sup>2</sup>
	専門学校	第一校舎	一部4階建	2415 m <sup>2</sup>
		第二校舎	2階建	345 m <sup>2</sup>
		学生寮	2階建	267 m <sup>2</sup>

## 2. 事業の概要

### 2.1 草苑保育専門学校

2023年度は、教育活動を展開することとなった。5月にはコロナが5類に移行し修養会、草遊祭、クリスマス礼拝と大きな行事はコロナ以前のように対面開催を実施し草遊祭に関しては外部の来客にも周知し多くの来客があった。尚、地域連携を重視し「あそ・ぼう祭」や近隣保育園との交流など授業内容で学んだことを実践できる場を設けるよう心がけた。

#### 2.1.1 講義の状況及び組織体制

今学期もクラス担任制をとりきめ細やかな教育的指導を行い教職員が一団となりお互いに協力し合いながらコミュニケーションをはかる組織づくりを実践していった。教職員の協力に感謝している。特に水曜日の午後に開講している保育総合教養の授業では外部の講師をお呼びし実習関連で児童養護施設の職員の講座、就職のみだしなみ講座、履歴書指導、ジャーナリスト杉山春氏の虐待についてのお話、村田教授(中央大学)によるメディアリテラシー、金融教育など保育専科と教養分野の2つの視点で開催した。

組織体制は実習センターを解体し教育実習、保育実習、施設実習を科目立てにし各教科担当者が協力しあいながら実習指導を行った。

#### 2.1.2 学校行事の活用及び実践

草苑保育専門学校では、各期に入学者・オリエンテーション、修養会、草遊祭、クリスマス礼拝・祝会、卒業礼拝、卒業式などの行事を計画している。これは単なる「学校行事」ではなく、一つずつを通じてアドミッションポリシーに掲げた「目標とすべき保育者」になるための「教育プログラム」である。

このことを強く認識し、かつ教職員が共有することにより、単なる「学校行事」として消化することにならずに教育プログラムとして生かすことができる。

計画されている学校行事等は例年とほぼ同じであるが、一つ一つの行事にそれぞれ担当教員を張り付け、具体的な実施内容について関係する教職員で事前に十分協議をして、これらの行事が「教育プログラム」のひとつであることを十分に発揮した。

##### 2.1.2.1 修養会

2023年度は4年ぶりに2泊3日の宿泊し都内から西湖に移動した。1日目は主題講演「望まれる保育者像～子ども・子育て支援新制度」のテーマで学校法人認定こども園 聖愛幼稚園 鈴木信行園長にお話していただき、それを受けてグループワークを実施して1年生・2年生がディスカッションを行う。2年生リードのもと交流を深め闊達な意見交換が行え、1年生は保育者に必要な本質な部分を知り2年生は今後の実習に活かす様子がみられた。その後の運動会ではクラスの一致をはかり各々協力し合いながら身体を動かす楽しさを実感した。キャンプファイヤーも協力して行い当初の目標である草苑の学生としての一体感をもつことができた。

##### 2.1.2.2 草遊祭

2023年度はコロナ以前の形式に戻し近隣へポスターを貼り子ども達への呼び込みや卒業生に声をかけ約350名の来校があった。テーマは「おとぎの世界へようこそ」。各クラスの話合い、準備、実践を通して保育者として子どもの発達に合わせた内容を取り入れクラスメートと協力する姿がみられた。来校した子ども達がとても喜ぶ様子もみられた。

また講堂での発表も専門学校、幼稚園独自のプログラムと共同してけん玉大会を実施し参加者一同がとても良い時間をもつことができた。

オレンジリボンの活動のアピール、いのちのことは社、Bigissue,福祉作業所2園、外部の飲食店もお呼びしとても賑やかな草遊祭であった。

#### 2.1.2.3 防災訓練並びに池袋防災館の体験

集団で一斉に訪問することはできなかったが、分散して例年通り実施した。来館後の感想文には現場では自分達が子どもを守ると言う自覚が芽生え就職前の実施は意義があることがわかった。

#### 2.1.2.4 クリスマス関連プログラム

前庭のツリーの点火式、クリスマス礼拝を実施した。

点火式は保育総合教養の時間内で1.2年生合同で実施する。クリスマスの意味について話をした後、担当学生達が選んだクリスマス献金先「アハリーアラブ病院」について学生達にむけて献金のアピールを行った。また12月のクリスマス礼拝では2年C組ページェント(聖誕劇)を演じ本科生と有志2組が礼拝に出席した。

#### 2.1.3 礼拝

火曜日は、高橋陽一牧師に第1・第3火曜日に担当していただくこととなった。

#### ・ 2024年度の主題聖句

「知れ 主こそ神にますなれ。われらを造りたまへるものは主にましませば  
我らはそのものなり。われらはその民 その<sup>草</sup>苑のひつじなり。」  
旧約聖書 詩篇 100 篇 3 節

今年度70周年を迎える草苑保育専門学校の原点である草苑の由来を教職員、学生一同に周知することを目的として選んだ。

#### 2.1.4 就職支援

就職支援センター主導のもと教職員のこまやかな履歴書指導により2023年度は約96%の就職率を達成した。公務員は18名合格。また初めて1名、嘉悦大学へ3年次に編入した。

#### 2.1.5 学生募集活動

2023年度募集活動は、少子化の影響や保育業界が抱える課題等によりイベント来校数や出願数が昨年対比微減した。

オープンキャンパスでは、実際の保育で必要な学びをテーマとした模擬授業を実施。また、保育の魅力を説明し、学生スタッフにより学校生活や実習体験談を伝え入学後のイメージを知ってもらうよう努めた。

職業訓練コースについては、希望者のニーズに合わせた説明会を昨年よりも多く開催した結果、参加人数は増加したが、面接申込人数は定員に達成することができなかった。

【目標】募集定員の達成

**【施策】**

- 高等学校訪問強化・・・地域別担当を決めターゲット校訪問強化
- 年間イベント開催数増加・・・オープンキャンパス／学校説明会／入試説明会
- 入学前ピアノ講座開催・・・入学前の事前学習強化
- SNS 強化・・・Instagram を中心に学校生活や行事などを発信、LINE によるイベント案内による周知活動



## 2.2 幼稚園

2023 年度は、コロナも 5 類になり、マスクを外し、食事の時のパーテーションを外して食事が出来るようになりました。子どもたちの育ちの中で、楽しく食事をする事は、大切な経験だという事を痛感した。礼儀正しさを身につける事、特に挨拶、返事、お礼に重きを置いて保育をした。年長組のスペシャルツデーは園児一人ひとりの力が発揮できるものであったと思う。草苑幼稚園だからこそできる保育を今後も目指していきたい。

### 2.2.1 園児数等

#### (1) 在籍園児数 (2023 年 5 月 1 日現在)

3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計	充足率
22	26	26	74 名	93%

#### (2) 預かり保育

豊島区	定期預かり 1 年間	延べ人数	2,658 人
	スポット預かり 1 年間	延べ人数	986 人
新宿区	定期預かり 1 年間	延べ人数	574 人
	スポット預かり 1 年間	延べ人数	274 人
中野区	定期預かり 1 年間	延べ人数	203 人

#### (3) 2 歳児クラスさくらんぼ

1 期 17 名 2 期 15 名 3 期 16 名 4 期 18 名 年平均 16 名

園庭開放: 1 年間平均 3 名参加

#### (4) 課外教室(小学生も含む) (2023 年 5 月 1 日現在)

チア	書道	体操	絵画	計
16	50	34	20	120

### 2.2.2 保育内容

#### (1) 対話的・主体的保育

「幼児期の終わりまでに育って欲しい 10 の姿」を念頭に置き、子どもたちが自ら気づき、自ら活動できる環境を整えて保育に当たった。年長組のスペシャルツデー、遠足の内容などは、子どもたちがたくさんのミーティングを通して、決めていった。年少組、年中組も 3 学期に行ったお店ごっこでミーティングをして、お店ごっこの内容を決めた。各学年が、各学年に合った対話的、主体的保育を行った。

#### (2) 基本的生活習慣の強化

朝の挨拶の強化。子どもたち一人一人が自信を持って挨拶や、自分の名前、検温が言えるように心掛けた。特に年長組の園児は、何々です、のように敬語も使えるようになった。また、忘れ物をしない、身の回りの整理が出来ることにも力を入れた。これは、保護者にも一緒に意識してもらうように保護者会で伝えた。今後も挨拶がキチンと言え、忘れ物をしないで、身の回りの整理が出来るように取り組んでいきたい。

### (3) 教育番組の活用

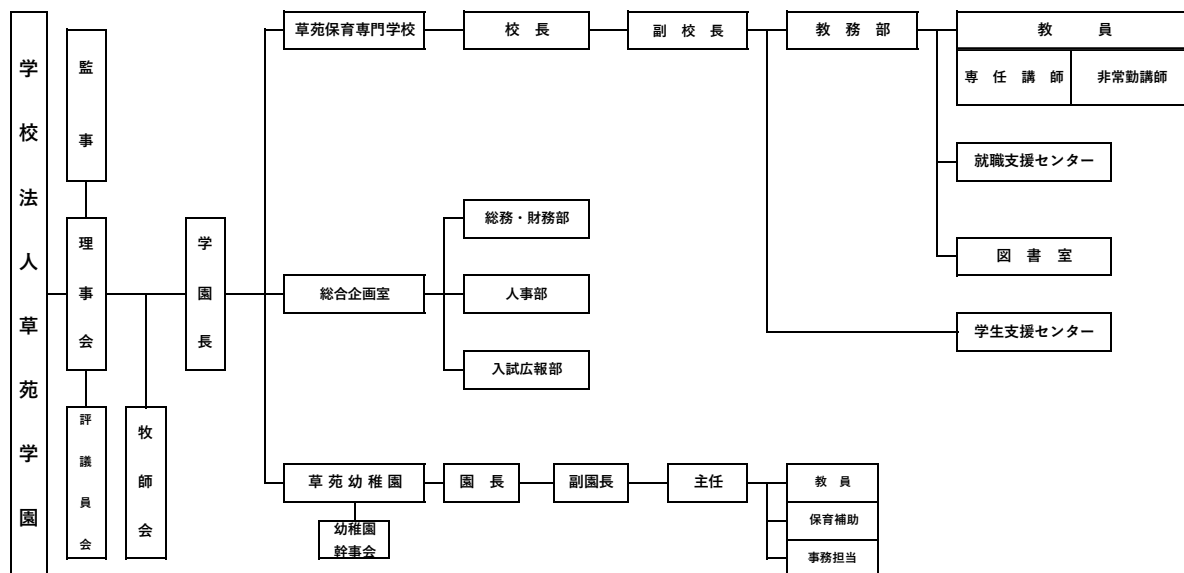
プロジェクターとスクリーンが備えられ、子どもたちと、「しぜんとあそぼ」、「ざわざわえんのがんぱーちゃん」の視聴し、こどもたちと自然について考えたり、友だちの気持ちを考えるきっかけを作ったりした。今後も、虫の生態を見たり、道徳教育に生かせる番組を視聴したい。

## 2.3 組織と運営

### 2.3.1 組織編成・教職員体制

2023年度は以下の「組織図」のように学園組織を編成した。

2023年度 草苑学園 組織図



### 2.3.2 創立70周年にむけて

2024年4月創立70周年を迎えるにあたり、70周年記念事業実行委員会を設置し各プロジェクトチームを設置して活動を始めた。

#### (1) 「記念動画」「記念パンフレット」の制作

草苑学園の設立はキリスト教保育実践者を育成するニーズにこたえたものであったが年数を重ねるうちに経営者の断絶的な退任などが起きてきた。そうした歴史検証を継承していくには資料不足ではあったが、用地提供を受けた成蹊学園(当時・成蹊女子学園)や、青山学院、キリスト教保育連盟、卒業生など情報提供を受けるなどして、細かく資料を紐解いた。

#### (2) 記念式典

2024年6月15日(土)に70周年を記念し、ホテルニューオータニで来賓を招いた礼拝と祝賀会を行う。これまで草苑を支えてくれた感謝と、培われた従来の草苑の教育・保育の上に、変化する時代や環境に応える教育への挑戦に積極的に取り組み更なる発展を目指すことを示し、教職員一同の決意の節目の機会となるよう、準備を進めている。

#### (3) 講堂改修

専門学校の講堂は音楽リズムや体育の演習、毎日の礼拝、入学式や卒業式、草遊祭、さらに幼稚園の諸行事などに使われているが、その内装を一新するとともに、天井の非構造部材耐震対策を行う。

#### (4) 記念募金

70周年を記念した講堂大規模改装の資金を集めるため、2023年10月より、「草苑学園創立70周年記念募金」を行っており、募金目標額は、3,000万円。『草苑 Report』を通じて、卒業生・卒園生や実習園、高校などのステークホルダーに募金活動の案内を広く行い、ご協力をお願いしている。多くの関係者による温かな支援が寄せられている。

さらに、2024年6月の実施に向けて、クラウドファンディングの準備を開始した。これは、ただ資金を集めるだけでなく、学園の理念・思いに共感し、支持して下さる一人ひとりとの絆を深めるための機会として位置付けている。

#### (5) 同窓会活動の再開

第4回ホームカミングデーを2023年12月15日(土)に開催し、例年より多くの卒業生参加の下、長い間休眠状態だった同窓会総会を実施した。規約の説明や新役員として会長、副会長、会計、庶務の4名を新たに選出した。また、今回新たに「草苑同窓会 LINE」を立ち上げ、ホームカミングデー開催案内、卒業生に向けての講演会案内、学校情報を月に1~2回配信した。近年卒業の若い年代や、保育の現場で働く卒業生に相互連絡を円滑に、かつ活発にできるよう、プラットフォームとして活用したい。今後はホームカミングデー開催日に同窓会総会を毎年行い、卒業生の草苑への協力や支援の力を強化できる活動を目指す。

### 2.3.3 財政基盤強化

#### (1) 募集活動

高校生の選ぶ進学先、子どもを通わせる保護者が選ぶ幼稚園として、「草苑には他にはない魅力がある」と認識してもらうことを意識した募集活動を行った。目白駅の近くにありながら豊かな緑と土の園庭がある立地的好環境であること、学生や園児にキリスト教の精神を持って、きめ細かい指導をする教育力、整えてきた施設内環境などを知ってもらうためにまずは学校や幼稚園に足を運んでもらうための活動に注力した。青山学院と教育連携する学校・幼稚園であることも選ばれるうえで大きな支えとなった。専門学校が定員を充足した一方、幼稚園は定員充足に至らなかった。子どもの数そのものが減少していることに加え、幼稚園であっても長時間の保育(預かり)を求める保護者は多い。しかし、草苑幼稚園だからこその特別な魅力を今後も増し、それらを適切に発信できるよう今後も試みていきたい。

#### (2) 納付金の確実な収納

例年同様、約半数の学生が日本学生支援機構の奨学金、保育士修学資金、分納のいずれかを利用している。

給付奨学金を利用している学生に対し、年に1回家庭基準の適格認定、半年ごとに行う学業成績の適格認定を行っている。特に学業の適格認定で毎年数名の学生が学業不振で給付奨学金が打ち切りになっている。

高等教育の修学支援新制度(授業料減免制度)に関しては、2023年度は23,724,500円の減免を行った。

### 2.3.4 法人の体制

2023年4月の太田学園長兼専門学校校長召天に伴い、5月の理事会において、新校長に阿江美知代を選任し、学園長については当面空席とすることとした。

月 2 回の幹部会では各部署からの懸案について部署長で協議を行い、方針を決定している。幹部会で決議された内容は教職員にも必要に応じて共有し、学園全体が共通認識を持って日々の教育活動を行える仕組みが定着した。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策は 5 類に移行されたことにより、行動制限もなくなり社会やそれぞれの組織に日常が戻る中、本学園においてもコロナ禍前の教育、保育を行うことができた。2019 年から始まった「コロナ禍」の4年間で、感染症予防の知識を正しく持つこと、感染対策の意識を高く持ち、お互いに呼びかけ励行することの意義と大切さを学んだ。保育や支援の場で実習や就労をする専門学校の学生、幼稚園の園児、また教職員にとっても、身を守り社会を守る意識を醸成する機会であったと言える。教育、保育にこの経験を繋げていきたいと思っている。

## 2.4 寄付募集

2019 年に「草苑学園教育資金」を設定して「5 年間で 5 千万円」を目標としたが、実際には 2018 年度から組織的な寄付募集に取り組んでおり、その実績は下表のとおりである。(下表は寄付を受けた年度で集計しており、実際の入金日とずれることがあるので、決算の金額と一致しない。)

		幼稚園	専門学校	現教職員	旧教職員	企業、一般	計
2018年度	件数	15				31	46
	金額	3,675,000				20,310,000	23,985,000
2019年度	件数	23	72	11	0	8	114
	金額	317,000	711,000	2,632,500	0	387,421	4,047,921
2020年度	件数	19	12	16	2	4	53
	金額	121,308	153,000	2,937,000	22,000	10,550,000	13,783,308
2021年度	件数	23	45	22	3	6	99
	金額	307,000	546,700	11,755,000	18,000	9,780,000	22,406,700
2022年度	件数	19	38	22	3	2	84
	金額	233,000	396,000	4,220,000	55,000	35,000	4,939,000
2023年度	件数	18	33	27	10	8	96
	金額	634,000	345,000	2,713,000	107,000	20,176,692	23,975,692
							93,137,621

個人からの寄付は、『草苑レポート』を通じた呼びかけに幼稚園・専門学校とも卒業生を中心に積極的な反応がある。さらに 2023 年度からはインターネットでの寄付を可能にしたことで、寄付者の利便性が大きく向上した。

法人からは、毎年大口の寄付をいただいている。このように、個人・法人の双方からの積極的な寄付があることは感謝である。

## 2.5 施設・設備

学園の施設・設備については、「安全」と「施設の長期維持」を優先しつつ、教育環境整備にもバランス良く投資できるよう計画的に整備を進めている。2023 年度は下表のように積極的に教育環境を改善した。

案件	安全と維持	教育環境	教職員	説明
玄関ホールに大型掲示板		○		玄関正面に大きな掲示板を取り付けた。

玄関ポーチの椅子を白色に統一		○		
空調機の更新(3台)		○	○	301,303,レッスン室3、講師室Ⅱ。
電子ピアノ、キーボード		○		故障で台数不足となっていたのを解決。
校舎内映像システムの是正		○		講堂から全教室への映像配信システム。
InfoClipper Web ポータル		○	○	学生がスマートフォンを通じて学校の情報にアクセスできるように。
全教室のドアにストッパー		○		教室のドアが静かに閉まるように。
情報授業用 PC バッテリー装備		○		情報授業用 PC を常時充電。
アルミサッシ交換工事	○			401 教室のアルミサッシ経年劣化。
雨漏り対策用防水工事	○			屋上からの雨漏り対策。
天井補修工事	○			屋上に上がる階段の天井が以前から破損。
アスベスト検体調査	○			講堂改装に備えて天井材等を調査。
ネズミ対策	○			ネズミの被害が増えたため。
301・302・303 教室・美術室等改修工事		○		数年がかりの教室美装はこれで完了。
大会議室の床の貼り替え			○	大会議室の床カーペットの劣化・破損。
空調機の更新(3台)		○	○	経年劣化の交換
授業用インターネット回線の容量拡大		○		授業でのインターネット利用増加に対応。

### 3. 財務の概要

#### 3.1 貸借対照表の概要

〔千円〕

	2022年度	2023年度	増減
固定資産	1,463,552	1,449,874	△13,678
うち有形固定資産	1,462,269	1,448,621	△13,648
流動資産	164,918	13,131	△33,606
資産の部合計	1,628,470	1,581,185	△47,284
固定負債	999,602	950,290	△49,312
流動負債	179,878	160,141	△19,735
基本金	845,522	928,161	82,638
繰越消費支出超過額	△396,532	△457,407	△60,875
負債及び純資産の部合計	1,628,470	1,581,185	△47,284

#### 3.2 資金収支計算書の概要

〔千円〕

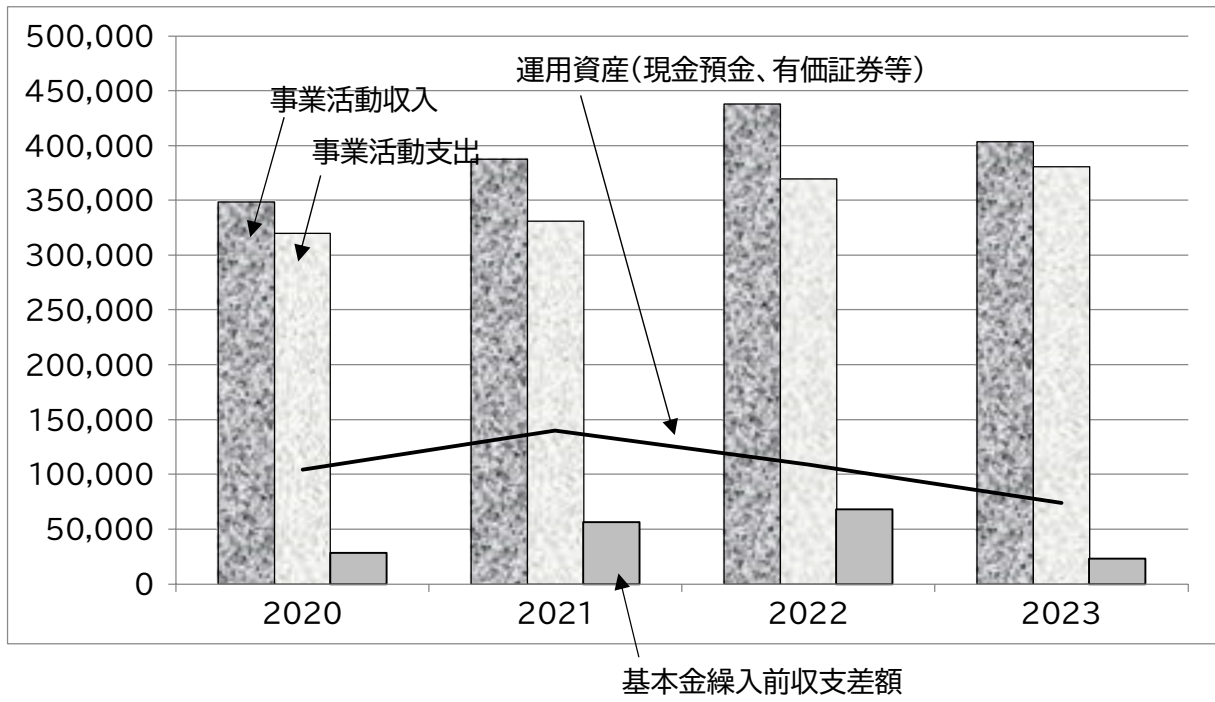
	2022年度	2023年度
収入総額(=支出総額)	853,893	842,009
うち翌年度繰越支払資金	139,299	108,060

#### 3.3 事業活動収支計算書の概要

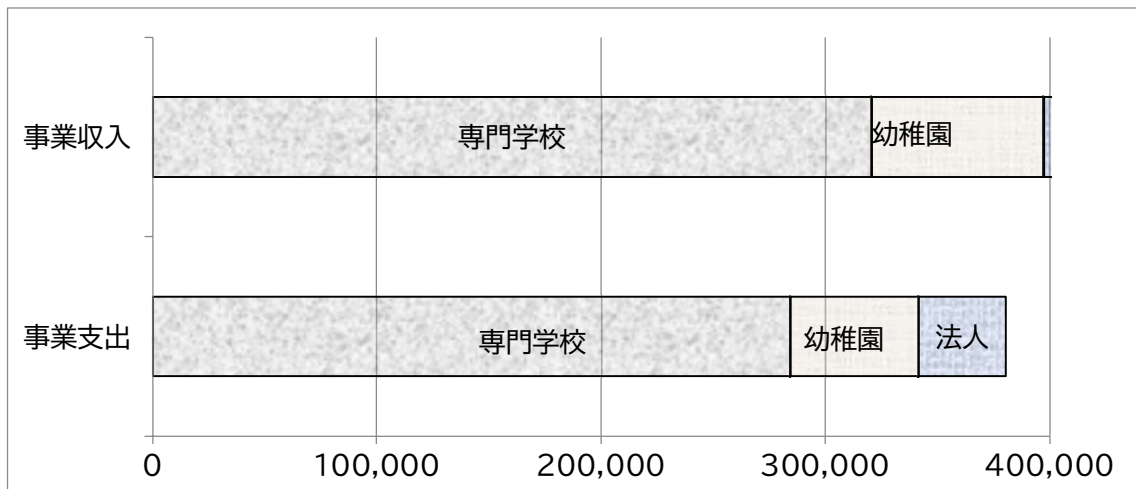
〔千円〕

		法人	幼稚園	専門学校	全体
教育活動事業収支	収入	5,886	76,697	320,683	403,266
	支出	24,938	57,257	284,463	366,658
	差額	△19,052	19,441	36,220	36,608
教育活動外収支	収入	31	0	0	31
	支出	13,854	0	0	13,854
	差額	△13,823	0	0	△13,823
経常収支差額		△32,876	19,441	36,220	22,785
特別収支	収入	0	0	0	0
	支出	0	14	1,008	1,022
	差額	0	14	1,008	1,022
基本金組入前収支差額		△32,876	19,427	35,212	21,763
基本金組入額		0	△6,404	△146,387	△152,791
当年度収支差額		△32,876	13,023	△111,175	△131,028

### 3.4 5年間推移



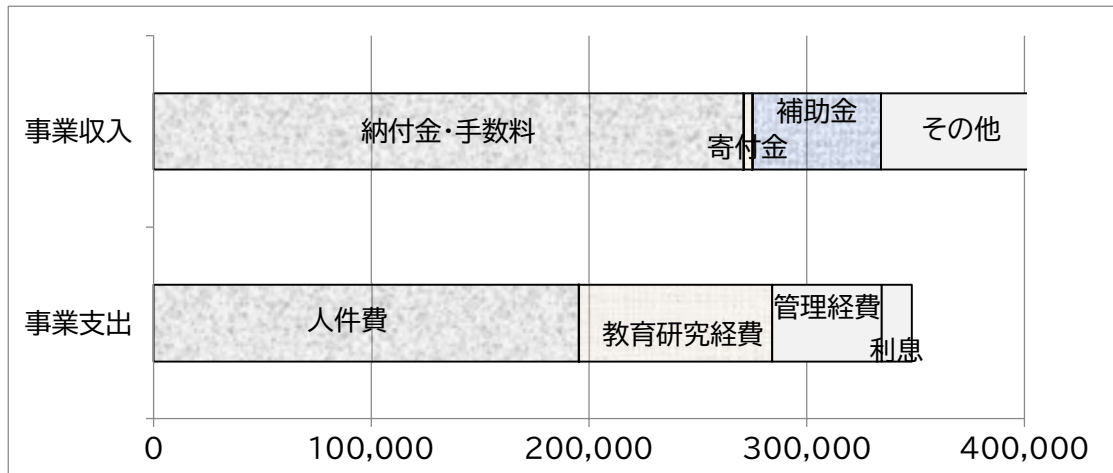
### 3.5 部門別の収支内訳



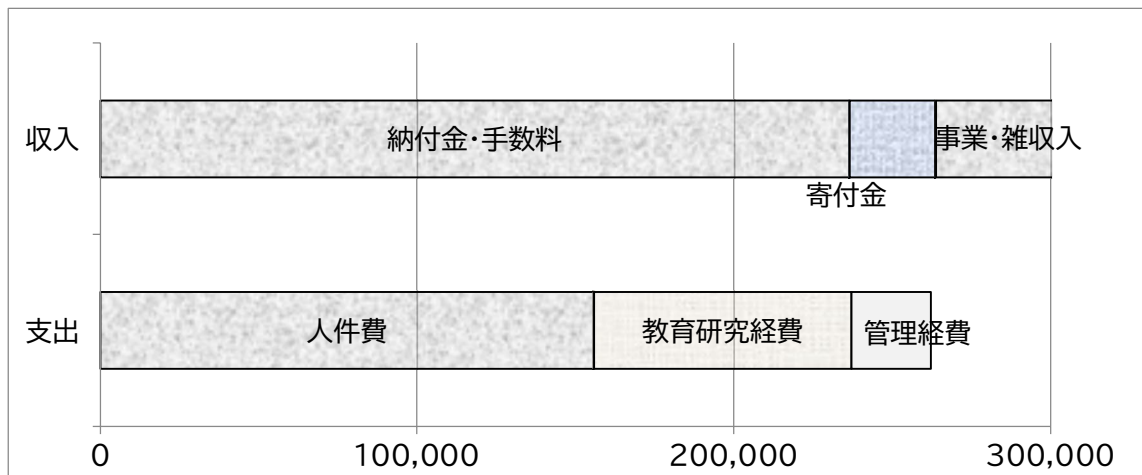


### 3.6 学校別の収支内訳

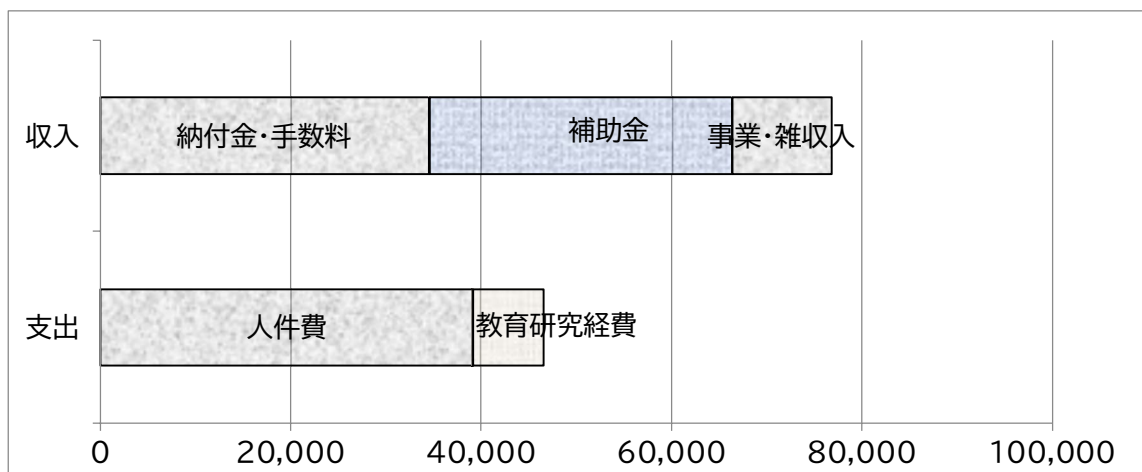
#### a) 法人全体の収支内訳



#### b) 専門学校の収支内訳



#### c) 幼稚園の収支内訳



### 3.7 主な財務比率

#### 3.7.1 貸借対照表関係比率

比率名	定義	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	△高いほど良い ▼低いほど良い	
							↓	説明
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	18.6%	20.4%	23.5%	27.6%	29.8%	△	純資産の充実度。
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	△26.7%	△27.8%	△26.3%	△23.8%	△28.9%	△	各年度の消費収支差額の累計。
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	515.9%	462.6%	389.6%	326.0%	308.0%	▼	固定資産の自己資本に対する割合。
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	105.6%	105.4%	103.7%	101.0%	102.0%	▼	短期返済不要の長期的資金の割合。
有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	95.6%	94.3%	91.6%	89.8%	91.6%	▼	資産のうち、換金性のない校地・校舎・図書等の割合。
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	45.9%	53.7%	71.7%	91.7%	82.0%	△	1年以内に償還すべき負債に対する返済余力。
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	△3.6年	△3.4年	△3.1年	△2.6年	△2.4年	△	支出規模から見た資金蓄積の余裕。
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	51.0%	63.7%	91.7%	127.4%	112.4%	△	100%未満は翌年度の事業活動収入の先食い。
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}}$	72.1%	69.2%	64.9%	61.4%	60.1%	▼	長期にわたって償還すべき負債が多いことを示す。
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	81.4%	79.6%	76.5%	72.4%	70.2%	▼	負債 + 純資産のうち他人資本の割合。
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	439.0%	390.0%	324.9%	262.7%	235.9%	▼	他人資金が純資産を上回っていないか。

※運用資産 = 流動資産 + 特定資産 + 有価証券

外部負債 = 総負債 - (退職給与引当金 + 前受金)

### 3.7.2 収支計算書関係比率

比率名	定義	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	△高いほど良い ▼低いほど良い	
							↓	説明
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.6%	8.1%	14.6%	15.6%	5.7%	△	学校の収支の基本的な指標。
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	3.6%	8.1%	14.6%	17.1%	5.7%	△	特別収支を考慮しない収支差額比率。
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.2%	10.8%	10.3%	9.5%	8.5%	△	減価償却額は実際の資金支出を伴わない。
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	75.5%	82.2%	79.1%	78.8%	80.3%	△	専門学校を受託事業費も納付金に加えた。
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	4.2%	4.0%	3.5%	3.2%	1.0%	△	私立学校の支援者獲得努力の指標。
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	11.8%	9.4%	12.6%	13.5%	14.6%	△	2021年から専門学校の修学支援金が追加された。
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	51.5%	46.6%	44.5%	42.9%	48.4%	▼	学校の最大の支出要素であるとともに経営資源でもある。
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒納付金}}$	68.2%	56.7%	56.3%	54.4%	72.8%	▼	専門学校を受託事業費も納付金に加えた。
経費比率	$\frac{\text{教研経費+管理経費}}{\text{経常収入}}$	29.3%	30.9%	27.5%	28.8%	34.5%	△	教育水準維持の努力の指標。
借入金等利息比率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{経常収入}}$	4.8%	4.4%	3.8%	3.3%	3.4%	▼	収入に対する利払いの比率。

※学生生徒納付金には、専門学校の訓練生受託収入も加算した。

は、2021年度の専修学校法人平均値。全国平均は上下各2.5%を外した平均。